

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

| 【目標達成計画】 | | | | | |
|----------|------|----------------------------------|---|---|------------|
| 優先順位 | 項目番号 | 現状における問題点、課題 | 目標 | 目標達成に向けた具体的な取り組み内容 | 目標達成に要する期間 |
| 1 | 34 | 急変時や事故発生時に職員は慌てず適切な対応ができるか。 | 急変時や事故発生時の対応ができるようになる。 | 新任も含め、急変時や事故発生時を想定し、マニュアルや緊急連絡表を活用していく。継続的に日常で実践訓練をしていく。 | 12ヶ月 |
| 2 | 10 | サービスの質の向上を図っていききたい。 | 利用者との家族に対して、より良い対応を心掛け、サービスに対する満足度を高める。 | 社内社外を問わず、研修の実施や各々の自己学習を行い、接遇の向上につなげていく。話す機会を増やし、意見、要望を傾聴していく。 | 12ヶ月 |
| 3 | | インフルエンザやノロウイルスなどの感染症が流行している。 | 各種感染症の予防と対応策を図る。 | 利用者、職員、家族は外出後、調理前、食前、排泄後、出勤時、訪問時の手洗い・うがい・手指消毒を徹底して予防していく。人混みの多い場所の外出活動は少なくする。早期にワクチンの接種をする。 | 3ヶ月 |
| 4 | 35 | 災害に備えて準備しておく。 | 火災、地震が起こった際の被害を軽減するために、事前予防及び事後対策を強化する。 | 防火管理者を中心に日頃の防火点検をしっかりと行っていく。スプリンクラー、自動火災通報設備、火災報知設備の導入を検討する。実践的な避難訓練を行っていく。地震における家具等の転倒を防止する。 | 12ヶ月 |
| 5 | | 年々利用者の身体や歩行能力の低下による転倒、ふらつきがみられる。 | 介護予防体操教室の参加頻度を高める。散歩の継続実施。 | 利用者のやる気を起こさせる声掛けを行っていく。空いた時間を活用して、しっかり体操や機能訓練をしていく。天気の良い日はできるだけ外へ出て短い距離でも散歩をしていただく。 | 12ヶ月 |